

HOKUSHINETSU
SPORTS FESTIVAL

銃剣道競技プログラム



第44回

北信越国民 体育大会

中心会期

令和5年 8月25日(金) ~ 27日(日)



主催/ (公財) 日本スポーツ協会・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県
新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会・長野県教育委員会・福井県教育委員会
(公財) 新潟県スポーツ協会・(公財) 石川県スポーツ協会・(公財) 富山県スポーツ協会・(公財) 長野県スポーツ協会・(公財) 福井県スポーツ協会
共催/ 会場地市町村・会場地市町村教育委員会 後援/ スポーツ庁 主管/ (公財) 新潟県スポーツ協会・新潟県各競技団体

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

国民体育大会マーク



昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第2回大会から使用されることになりました。

30度右傾斜の赤色の火炎を直径10分の1幅の紺青色の円帯で囲んでいます。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若い力	・ ・ ・ ・ ・ 1	諸 会 議	・ ・ ・ ・ ・ 8
新潟県民歌	・ ・ ・ ・ ・ 1	競 技 日 程	・ ・ ・ ・ ・ 9
大会会長あいさつ	・ ・ ・ ・ ・ 2	競 技 組 合 せ 表	・ ・ ・ ・ ・ 9
新潟県議会議長祝辞	・ ・ ・ ・ ・ 3	監 督 ・ 選 手 名 簿	・ ・ ・ ・ ・ 9
新潟県銃剣道連盟会長あいさつ	・ ・ ・ ・ ・ 4	競技上の規定及び試合方法	・ ・ ・ ・ ・ 10
三条市長歓迎のことば	・ ・ ・ ・ ・ 5	銃 剣 道 競 技 の 見 方	・ ・ ・ 11～13
競技会役員	・ ・ ・ ・ ・ 6	過 去 の 成 績 一 覧	・ ・ ・ 14～15
競技役員	・ ・ ・ ・ ・ 7	競 技 会 場 案 内 図	・ ・ ・ ・ ・ 16
式典次第	・ ・ ・ ・ ・ 8	宿 舎 ・ 大 会 本 部 等	・ ・ ・ ・ ・ 17

若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ
歓喜あふれる ユニフォーム
肩にひとひら 花が散る
花も輝け 希望にみちて
競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン
僕のよろこび 君のもの
挙る凱歌に 虹が立つ
友情身にしむ 熱こそいのち
競え青春 強き者

新潟県民歌

高下玉衛 作詞
明元京静 作曲

一、世紀明けゆく西北の

山河新たに旭(ひ)は映えて
県民二百五十万
希望に燃えてこそり起(た)つ
ここぞ民主の新潟県

二、五穀の宝庫土壌(つち)肥えて

尽きぬ越後の野の幸に
文化産業絢爛(けんらん)と
花咲き薫るこの繁華(はんんか)
興(おこ)せ自由の新潟県

三、日本海の若潮に

弥彦妙高佐渡晴れて
世界をむすぶ観光の
絵巻彩(あや)なすわが郷土
拓(ひら)け詩(し)の国新潟県

四、越佐の天地玲瓏(れいろう)と

今ぞ平和の鐘は鳴る
ああ新しき憲法の
聖(きよ)き理想を炬(ひ)と翳(かざ)し
築け栄(はえ)ある新潟県

あいさつ



第44回北信越国民体育大会 会長

新潟県知事 花角英世

第44回北信越国民体育大会が、北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをご喜び申し上げますとともに、御参加の皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、今年鹿児島県で開催されます特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

これまでひたむきに練習に励んでこられた選手の皆様の努力、それを支えてきた監督・コーチをはじめとする関係各位の御尽力に対して改めて敬意を表します。選手の皆様には、日頃鍛えられた力と技を存分に発揮されますことを心から願っております。

さて、本県では、観光・文化・スポーツを通じた地域の魅力向上など交流人口の拡大や、県民の誰もがスポーツを通じて、生涯にわたり健康で活力に満ちた豊かな生活を送ることができる社会の実現に取り組んでおります。このような中、本大会の開催を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制約、困難を乗り越え、スポーツの持つ価値を広く発信できますことは、大変意義深いものであります。

また、新潟県は、四季折々に見せる豊かな表情、雪解け水が生み出す新潟米や日本酒などの食の豊かさ、伝統と革新のものづくり、世界文化遺産登録を目指す「佐渡島（さど）の金山」等、数多くの魅力があります。大会後は、豊かな食や温泉などの新潟の魅力をお堪能ください。

結びに、本大会の開催に御尽力された会場の市町をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘と大会の成功を祈念申し上げます。あいさつといたします。

お祝いの言葉



新潟県議会議長 楡井 辰雄

第44回北信越国民体育大会に参加されます選手、監督、役員の皆様方に、新潟県議会を代表いたしまして、心から歓迎を申し上げます。

各県の予選を勝ち抜き、本大会への出場を果たされた選手の皆さん、誠におめでとうございます。その御榮譽に対し、心からお祝い申し上げます。

鹿児島県で開催されます特別国民体育大会への出場を目指し、フェアプレーの精神で、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮されることを期待いたします。

来年にはパリ2024オリンピック・パラリンピックも控えております。今大会に参加された選手から一人でも多くの方が、世界の舞台に挑まれることを祈念しております。

また、それぞれの地域において、日頃から選手の育成やスポーツ振興に御尽力いただいております監督、役員を始め関係者の皆様のこれまでの御努力と御熱意に対し、深く敬意を表します。引き続き、スポーツを通じた地域社会の発展に貢献いただきますよう、お願い申し上げます。

本県には、県土に広がる豊かな自然や歴史・文化などの多様な地域資源、新潟米を始めとした農産物や新鮮な日本海の幸を活かした豊かな食など、たくさん魅力があります。皆様には、この機会にぜひとも新潟の魅力を満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり多大な御尽力をいただきました関係の皆様から心から感謝を申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あいさつ



新潟県銃剣道連盟 会長 熊倉 光生

北信越各県の選手、監督及び役員の皆様をお迎えし、第44回北信越国民体育大会銃剣道競技をここ三条市で開催されることを心からお慶び申し上げますとともに、日々銃剣道の普及や選手育成に携わった関係者様に心から感謝いたします。またこの大会を通じ、銃剣道を知らない人にも、銃剣道に関心をもつていただくことを期待しております。

皆様もご存じのとおり、銃剣道は前に踏み込んで木銃の先端を相手の定められたところに突く競技です。その動作は単純で直線的であり、フェンシングのような変幻自在の動作はありません。しかし動作が単純なるがゆえに難しさがあります。その難しさは対戦する選手同士の心の読み合いです。しかけた技をはずされるのではないか、相手はいつ突いてくるかなどの怖れ・不安を克服しながら行う競技です。俊敏な動作以上に非常にメンタルな競技です。相手に勝るメンタルをもつためには、日々の練習の積み重ねしかありません。日々の練習から生まれる自分の技に対する自信をもって、対戦相手にあたるしかないわけです。

参加される選手の皆様は、この日々の練習で培った揺るがぬ自信を胸に、正々堂々と競技を行ってください。また各県の代表としてがんばってください。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

歓迎のことば



三条市長 滝沢 亮

第44回北信越国民体育大会が、三条市において、各県から多くの選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、市民を代表し、心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の代表選手が「燃ゆる感動かごしま国体」への出場をかけ、誇りと期待を胸にハイレベルな戦いを繰り広げるスポーツの祭典であります。選手の皆様におかれましては、感染症の影響により活動が制限され、多くの我慢や苦勞を乗り越えてきたことと存じます。本大会では、日頃の練習で培った力を如何なく発揮し、人生の一ページを飾る思い出深い大会になることを願っております。

さて、本市では多くの市民が多様な形で気軽にスポーツに親しんでもらうため、トップアスリートを間近に感じることのできる機会の創出に取り組んでおり、本大会の開催地に選定いただいたことは非常にありがたく感謝しております。この大会を機に、市民のスポーツへの関心が高まることを期待しております。

また、当市は、「ものづくりのまち」三条として先人たちが築いた伝統文化の息づくまちです。大会後は、鍛冶職人の歴史が生み出した「三条カレーラーメン」や山紫水明な下田郷の大自然をご堪能いただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催に当たり、御尽力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御活躍を祈念し、歓迎の挨拶といたします。

競 技 会 役 員

名誉会長	滝沢 亮			
会長	熊倉 光生			
副会長	佐々木 紀	本郷 一彦	濱谷 隆平	稲田 朋美
顧問	阿部 銀次郎	高橋 誠一郎	村上 正彦	永田 周三
	古賀 肇	関谷 幸次	猪 友一	長谷川 元
	中條 耕太郎			
参与	小林 徹	北條 雄一	羽田 忠三郎	川島 一彦
委員長	北村 義宏			
副委員長	高柳 陽一	松田 千眞男	井畠 大	三田村 則昭
	丸山 大和	竹口 暁	小関 朋暁	
委員	佐藤 優	前山 直人	堀口 寛之	目黒 裕也
	増田 宇秀	吉川 一美	石川 弘	久米 豊継
	丸山 育男	滝沢 元気		

競 技 役 員

競技委員長	長谷川 元
競技副委員長	高柳 陽一(石川県) 渡邊 誠(富山県) 鈴木 弘雄(長野県) 小寺 修司(福井県) 竹口 暁(新潟県)
審判長	北村 義宏(新潟県)
審判員	丸山 育男(新潟県) 福海 外吉(石川県) 井畠 大(富山県) 松田千眞男(長野県) 三田村則昭(福井県)
指導普及係	長谷川 元
総務係	高井 洸太 丸山 智輝 木村 風翔
進行係	高橋 駿平 長岡 希空
会場係	笠原 悠 近藤 草介 大桃 恭都
記録係	大谷 竜輝 大桃 紘都
放送係	菅野 大地
時計係	野口 将史 小池 健太
救護係	滝沢 琉夏 小池陽子
補助役員	三条銃剣道会

式典次第

【開始式】

期日 令和 5年 8月20日(日)
時間 10時00分
場所 三条市体育文化会館マルチルーム2

【表彰式】

期日 令和 5年 8月20日(日)
時間 試合終了後
場所 三条市体育文化会館マルチルーム2

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開式通告
- 3 競技開始宣言
- 4 国家斉唱
- 5 競技会会長挨拶
- 6 三条市長挨拶
- 7 歓迎の言葉
- 8 審判長注意
- 9 選手宣誓
- 10 競技開始

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開式通告
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 講評
- 6 閉会の挨拶
- 7 協議終了宣言

諸会議日程

会議名	期日	時間	場所	電話番号
監督・審判会議	8月19日(土)	17時00分	三条体育文化会館 マルチルーム3	0256-36-0700

競技日程

開始式	令和 5年 8月20日(日)	10時00分
表彰式	令和 5年 8月20日(日)	試合終了後

競技組み合わせ表

5チームリーグ戦

試合開始 10:30 試合終了 12:00

試合順序	県別	1 新潟	2 福井	3 石川	4 長野	5 富山	勝点 (勝者数/勝本数)	順位
①1-5	1 新潟	\						
②2-3								
③1-4	2 福井							
④2-5								
⑤3-4	3 石川							
⑥1-2								
⑦3-5	4 長野							
⑧2-4								
⑨1-3	5 富山							
⑩4-5								
・組み合わせは、抽選とし番号を付ける。 ・代表戦は、銃剣道競技規程による。								

特別国民体育大会 北信越ブロック代表数 1

選手・監督名簿

県名	監督	先鋒	中堅	大将
新潟県				
福井県	増田 宇秀	水野 友翔	清水 誉仁	水野 恵寿
石川県	中村 定市	中野 翔太磨	木田 雄太	大橋 健留
長野県				
富山県				

競技上の規定及び試合方法

1. 1チーム3名（先鋒、中堅、大将）とし、試合方法はリーグ戦とする。
2. 勝負はすべて3本勝負とし試合時間は5分、延長2分、勝負が決しない場合は判定による。
3. 順位の判定は勝ち数による。勝ち数が同数の場合は勝者数による。勝者数でも順位が決定しない場合は勝ち本数による。勝ち本数も同数の場合は代表決定戦による。代表決定戦はチームごとフリーとする。
4. 代表戦は一本勝負とし試合時間は無制限で勝負が決まるまで行う。
5. 審判方法
3人制とし銃剣道試合審判規則及び細則による。

銃剣道競技の見方

1. 銃剣道競技とは

「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政 10 年 4 月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・疋田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適した純日本武道として、明治 25 年（1892 年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

「国民スポーツとしての銃剣道」

社団法人 全日本銃剣道連盟は、文部科学省及び（財）日本スポーツ協会の傘下にあつて、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的効果と競技力を高めるスポーツ的効果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇気・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

連盟は「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・確かな審判により「判りやすく、スピーディーで、美しい」試合を具現することを求めています。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝って驕らず負けて悪びれない爽やかな態度、理合いに叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、躰・マナーを欠いた粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、強く、逞しいものを求めています。

「国民体育大会の参加」

昭和 31 年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会貢献活動等に普及発展し、昭和 48 年に日本体育協会の加盟団体となり、昭和 55 年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展してきております。

2. 銃剣道競技の見方は

銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」または「喉」を突いて勝敗を競う競技です。

突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う以外に木銃を薙ぐことはありません。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した氣勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

3. 服装・用具

防具には、面・胴・肩・垂・小手・裏ぶとん（胴ぶとん）・指袋があります。裏ぶとんは、肩と胴の下に装着する衝撃吸収用の用具です。

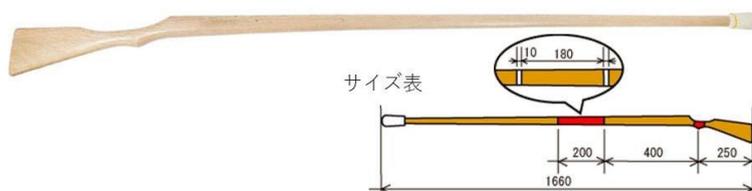
白または紺の銃剣道衣（稽古着・袴）を着用し、その上に防具を装着します。右腕には称号・段位を表す識別章を着けます。

木銃は、樫の木などを用いた、長さ 166cm、重さ 1,100g 以上のものを使用します。持つ位置が決められており、それ以外の場所を持つと反則になります。

防具



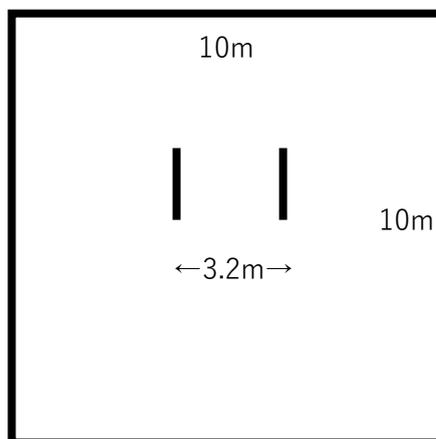
木銃



4. 試合場

板張りの床に縦・横 10m の正方形の区画線を設け試合場とします。試合中に区画外に出てしまった場合は、場外という反則になります。

中心点から 1.6m の場所にそれぞれ「試合開始線」を表示します。



5. 勝敗の決定

試合時間は 5 分 3 本勝負であり、勝敗は、3 人の審判が赤・白の審判旗を挙げることで「有効突き」を表示します。2 人以上の審判が旗を挙げた場合に 1 本となり、2 本先取した方が勝ちとなります。ただし、試合時間が終わったときにどちらかが 1 本を取っていた場合、1 本を取っていた方が勝ちとなります。（1 本勝ち）

試合時間内に勝負が決しない場合、2 分間の延長戦を行い 1 本先取した方が勝ちとなります。それでも勝負が決しない場合は審判 3 名による判定を行い勝敗を決します。

6. 1本になる有効突き部位とは

左胸部を相手の左手の上方から突く「上胴（うわどう）」、左胸部を相手の左手の下から突く「下胴（したどう）」、喉部を突く「喉（のど）」、左胸を隠した小手を突く「小手（こて）」、体勢を崩した相手に対して左胸を狙って真っすぐ肩を突く「肩（かた）」があります。それらの部位を正しい気・剣・体の一致した突きで突いてはじめて1本になります。

7. 反則

試合を公正におこなうため禁止事項があり、これを犯したときには「反則」とし、1試合に反則2回を行うと相手に1本が与えられます。

反則事項は、両足とも場外に出る「場外行為」、相手を不当に場外に押し出す「不当な押し出し」、相手に手をかけたり足をかけたりする「手がけ・足掛け」、木銃で相手の体を打つ動作「危険行為」、相手の木銃を握る「木銃握り」、木銃を落とす「木銃落とし」、木銃の規定外の場所を握る「不正握り」、試合者が接近し10秒以上離れようとしない「接近長し」などがあります。

<h3>銃剣道修行の指標</h3> <p>銃剣道の修行は、たゆまない努力によって心身を鍛練陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって</p> <p>正しく、 明るく、 強く、 逞しい、</p> <p>人間形成を目指して精進するものである。</p> <p>公益社団法人 全日本銃剣道連盟</p>	<h3>銃剣道の本旨</h3> <p>第1 銃剣道は、わが国の伝統的な武術である槍術の「突き技」を基調として、明治初期に創成され発展した武道である。</p> <p>第2 銃剣道は、武士道の美風である、「誠実」「礼節」「勇気」「質実剛健」及び「克己心」等を徳目として錬磨し、社会に有為な人間の育成を目的とするものである。</p> <p>第3 銃剣道は、「突く」「抜く」「打つ」「払う」「かわす」「押す」及び「足さばき」等の身体活動を通して、健康で豊かな社会生活を営むための、国民の健康・体力づくりに寄与するものである。</p> <p>第4 銃剣道は、木銃を用いて相手の喉・胴等への「突き技」で競い合う競技であり、攻勢的に果敢なところに特色がある。また、技の構成は単純で習得容易であるが、真髄を極めるには奥深いものがある。</p> <p>第5 銃剣道は、稽古と試合を通じて、「知」「情」「意」のバランスのとれた心身の発達を図り、社会への適応力を育成し、心肺機能・スピード・反応力及び持久力を高めることができる。</p> <p>公益社団法人 全日本銃剣道連盟</p>
---	--

北信越国民体育大会(銃剣道)成績一覽表

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第1回昭和55年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪・(初)高橋 隆司 (初)坂井 英昭
第2回昭和56年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪・(初)金子 敦 (初)菅原 辰広
第3回昭和57年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和・(2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第4回昭和58年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和・(2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第5回昭和59年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)豊崎 堅一・(初)角田 清志 (初)高野 重幸
第6回昭和60年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(2)角田 清志・(2)安彦 勉 (2)吉田 猛
第7回昭和61年度	石川	7段 橋本 博	(初)小野 憲幸・(初)朝倉 健史 (初)小橋 実
第8回昭和62年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時・(2)東城 清 (2)五十嵐正志
第9回昭和63年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時・(2)東城 清 (2)五十嵐正志
第10回平成元年度	長野	6段 井口 喜八	(2)手塚 佳徳・(2)百瀬 典昭 (2)熊谷 敦徳
第11回平成2年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男・(初)新保 正春 (2)中村 克行
第12回平成3年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男・(初)新保 正春 (初)野崎 和也
第13回平成4年度	石川	無段 橋本 浩照	(3)森元 誠・(2)中村 友和 (3)長瀬 光宜
第14回平成5年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)坂井 剛志・(2)稲塚 勝彦 (2)田中 幸一
第15回平成6年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)国井 稔・(初)神能 貴典 (2)林 朋紀
第16回平成7年度	富山	6段 斎藤 良隆	(初)広瀬 敬久・(2)国井 稔 (2)林 朋紀
第17回平成8年度	富山	7段 斎藤 良隆	(2)小西 孝典・(3)神能 貴典 (3)広瀬 敬久
第18回平成9年度	福井	8段 桑原 義喜	(初)内田 一也・(初)木藤 洋介 (初)谷口 裕規
第19回平成10年度	富山	7段 深江 安雄	(2)鞍馬 克宏・(初)鞍馬 孝之 (初)小塚 久雄
第20回平成11年度	富山	7段 深江 安雄	(初)中保 竜也・(3)鞍馬 克宏 (2)小塚 久雄
第21回平成12年度	新潟	6段 長谷川 元	(2)堀江 幸喜・(初)森田 幸尚 (2)原田 亮
第22回平成13年度	富山	7段 橋本 峰雄	(2)野口 昭・(2)西野 義嗣 (2)北 知治
第23回平成14年度	富山	8段 富田 文春	(3)野口 昭・(3)西野 義嗣 (初)明和 史恭
第24回平成15年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)前山 敬史・(2)渡邊 享介 (初)小林 大祐
第25回平成16年度	石川	8段 山田 正雄	(初)中村 史也・(初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第26回平成17年度	石川	8段 山田 正雄	(初)大川 翔平 ・ (初)坂口 慶太 (初)吉谷 圭遼
第27回平成18年度	石川	6段 小田 晃平	(初)奥野 功章 ・ (初)田實 雄大 (初)尾上 健司
第28回平成19年度	石川	7段 小田 晃平	(初)小堀 裕和 ・ (2)松木 大輔 (2)中村 栄宏
第29回平成20年度	新潟	6段 丸山 育男	(2)近藤 史章 ・ (初)児玉 恭平 (初)棒 論
第30回平成21年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)吉田 翔 ・ (2)永井 一登 (初)正木 登
第31回平成22年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)山田 剛弘 ・ (初)棒 論 (初)児玉 恭平
第32回平成23年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)北村 雅之 ・ (3)渡辺 一矢 (3)佐藤 悠太
第33回平成24年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)大谷 竜輝 (初)渡邊 健斗
第34回平成25年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)高井 洸太 ・ (2)渡邊 健斗 (2)大谷 竜輝
第35回平成26年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)野口 将史 ・ (2)高橋 駿平 (2)高井 優樹
第36回平成27年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)野口 将史 ・ (初)村上 周太郎 (初)武石 光博
第38回平成29年度	石川	7段 高柳 陽一	(3)望月 大輝 ・ (2)附田 健作 (3)松岡 克哉
第43回令和4年度	石川	8段 中村 定一	(初)中野 翔太磨 ・ (初)大橋 健留 (初)木田 雄太

会場案内図



■交通案内

JR: JR弥彦線「北三条駅」から「三条市体育文化会館」まで徒歩6分

JR上越新幹線「燕三条駅」から「三条市体育文化会館」まで徒歩22分

車: 北陸自動車道「三条燕IC」から「三条市体育文化会館」まで1.9km

■問合せ

〒955-0083 新潟県三条市荒町2丁目1-3

三条市体育文化会館

TEL0256-36-0700

宿 舎 一 覧

県 名	宿 舎 名	所在地	電 話
石川県	アクアホテル燕三条駅前店	三条市須頃 1 丁目 72	0256-36-7700
福井県			

競技会本部・記録本部

三条市体育文化会館
〒955-0083 三条市荒町 2 丁目 1 番 3 号
電話 0256-36-0700
FAX 0256-36-0701

会場最寄医療機関

三之町病院 三条市本町 5 丁目 2 番 30 号 0256-33-0581

県立吉田病院 燕市吉田大保町 32 番 14 号 0256-92-5111

大 会 本 部

第 44 回北信越国民体育大会実行委員会事務局
〒950 - 0933 新潟市中央区清五郎 67 - 12 デンカビッグスワンスタジアム
(公財) 新潟県スポーツ協会内
TEL 025 - 287 - 8600 FAX 025 - 287 - 8601